



2020年6月12日
カトリックさいたま教区 司教
マリオ 山野内 倫昭

新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応について (第9次)
『教会活動の再開に向けて』

「緊急事態宣言」は解かれましたが、東京ではすぐに「東京アラート」が発せられ、「試練の時」はまだ終わってはいないと考えます。

そこで、東京大司教区と連携し、6月21日より、教会活動の再開への道を歩み始めます。これからも教会活動の完全な再開へ向かって一歩ずつ歩んでいきましょう。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の新型コロナウイルスのためなくなられた方々の安息を、また、今なお感染症で苦しんでいる方々の一日も早い回復を祈り、そして、感染の危険にさらされた場所で、身命を賭して、働いてくださっている方々へ感謝しながら、お知らせをいたします。

6月21日から、教会活動を段階的に再開します。

- 再開される主日のミサは日曜日の1回だけとします。ミサに与れるのは、月に1度か、2度になる場合もあります。
- ミサのある教会を求めて移動することはできません。
- 引き続き、主日のミサに与る義務を免除します。
- 平日のミサの非公開はまだしばらく継続します。
- 厚生労働省の報告に基づき、重症化率と死亡率が急激に高まる65歳以上の方については、ミサへの参加の自粛をお願いします。特に、75歳以上の方々、並びに持病(重い基礎疾患)のある方々には大変申し訳ありませんが、「いのちを守ることを優先し、もうしばらくの間、ご自宅にとどまって、お祈りくださるようお願いいたします。
- 発熱など体調不良の時は、どうかご自宅にとどまってお祈りください。

再開後の様子を見ながら、主日のミサの回数を増やすことや年齢制限の緩和の可能性について検討を続け、一日も早く、何の心配もなく、安心して、共同体の全員が聖堂に集い、すべての主日に、そして週日にも、ミサに与れる日がきっと近い将来に来ることを信じて、ご一緒に歩んでいただきたいと思います。

アヴェ・マリア!